

機械器具 21 内臓機能検査用器具
管理医療機器 人体開口部単回使用体温計プローブ 35254002

直腸・食道用ディスポーザブル体温プローブ TypeV

再使用禁止

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

・再使用禁止

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」

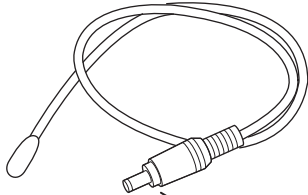
・磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）を併用しないこと。
[MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

(1) 形状及び寸法

プローブの長さ：約0.64m

原材料：ポリ塩化ビニル



コネクタ部

(2) 原理

本プローブは、温度依存性を有するサーミスタ素子により直腸・食道の体温およびその変化を測定し、電気抵抗値を生体情報モニタに伝達します。

【使用目的又は効果】

本プローブは、直腸・食道に挿入し、連続的にその部分の体温や変化を測定できる単回使用の体温プローブです。

*【使用方法等】

＜使用前＞

以下いずれかの消毒剤を使用し、必ず消毒してください。

推奨する消毒剤：エタノール 70%、イソプロパノール 70%

1) 本プローブの消毒は、コネクタ部を除いて、消毒剤を含ませた綿布または柔らかい布で拭いてください。

2) 消毒後は、必ず水で湿らせた柔らかい布でプローブに残留した消毒剤を拭き取り、十分に乾燥させます。

＜使用方法＞

1) 体温ケーブルTypeV（販売名：生体情報モニタ Accumil V7000 シリーズの構成品）を使用して、本プローブを生体情報モニタに接続します。

2) 本プローブを患者の適用部位に挿入します。

** ＜組み合わせる使用する医療機器＞

販売名	製造販売業者	医療機器認証番号
生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ	フクダ電子株式会社	22600BZX00092000
生体情報モニタ Accumil V6000シリーズ	フクダ電子株式会社	22600BZX00264000
生体情報モニタ Accumil V5000シリーズ	フクダ電子株式会社	22600BZX00097000

*【使用上の注意】

* ＜重要な基本的注意＞

** ・プローブ類の配線に注意してください。[患者に絡みついたり、締め付けたりする危険性があります。]

・消毒時は、プローブを消毒剤に浸したり、コネクタ部を湿らしたりしないでください。

* ・指定の機器以外、接続しないでください。[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす可能性があります。]

** ・長期にわたって測定する場合、患者がプローブなどで押さえつけられ、圧迫していないことを適宜確認してください。また、プローブ類が患者の体の下に配置されないようにしてください。[血流を障害し、圧迫壊死を生じることがあります。]

* ＜相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）＞

* 1. 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）	MRI装置と併用しないでください。	MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。

** 2. 併用注意（併用に注意すること）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
電気手術器（電気メス）などの高周波発生源を有する機器（MRI装置を除く）	電気手術器近傍で本プローブを使用しないでください。本プローブ及び体温ケーブルを患者に接触させないでください。電気手術器と生体情報モニタとを確実に絶縁してください。	高周波ノイズによる誤った測定値表示、高周波電流によるプローブの損傷及び意図しない熱傷が生じる恐れがあります。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：フクダ電子株式会社

外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Co., Ltd. (中国)

シンセン マインドレー バイオメディカル

エレクトロニクス カンパニー リミテッド



046-006233-00(4.0)

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。

4L011542A